

DNA ポリメラーゼβ (ラット)

10-101 20 µg, 10-102 100 µg

DNA ポリメラーゼβは塩基に種々の損傷や修飾(酸化、メチル化、脱アミノ基等)を受けた時の塩基除去修復によるDNAの修復に関与する酵素である(文献1)。

本品は、大腸菌で全長のラット**DNA ポリメラーゼβ**を多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したもので、tagをもたないインタクトな高品質の酵素である(文献2)。SDS-PAGEにおいて単一バンドを示し、分子量が38 kDaである(図1)。

用途

- 1) DNA損傷の塩基除去修復機構の研究
- 2) 抗DNAポリメラーゼβ抗体を用いたウェスタンブロットのコントロール

製品の性質

活性: 90 unit/µl (1unitは1 nmoleのdNTPを37℃1時間に酸不溶画分に取り込む酵素の活性)

純度: SDS-PAGE (CBB染色)で95%以上の純度

濃度: 1.3 mg/ml (BCA法で決定)

性状: 50mM Tris-HCl pH7.6, 0.3M KCl, 0.1mM EDTA, 1mM DTT, 20% glycerol

保存: 4℃またはドライアイス梱包で送付。長期保存は-80℃

データリンク Swiss-Prot [P06766](#)

文献

1. Friedberg EC *et al.* *DNA Repair and Mutagenesis* 2nd ed., ASM Press (2006)
2. Date T *et al.* "Expression of active rat DNA polymerase beta in Escherichia coli." *Biochemistry* 27: 2983-2990 (1988) PMID: [3042024](#)

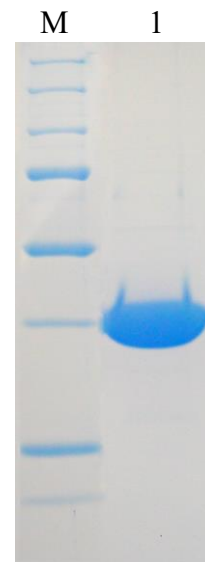


図1 SDS-PAGE電気泳動によるDNAポリメラーゼβの解析

M: 分子量マーカー(上から250、150、100、75、50、37、25、20 kDa)

レーン1: DNA polymerase β (rat)

関連製品

[70-041](#) 抗DNAポリメラーゼβ(ラット)抗体(ヒトやマウスのホモログとも反応します)